

事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	05-01-01		戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	文化振興事務費		部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課		課長名	伊藤	
			担当者名	白石		内線	2521	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-01-02		事務費					
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業	<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和 62 年度		根拠	西日暮里ギャラリー運営要綱				
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 令和3 年度		法令等					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V 文化創造都市						
	政策	09 伝統文化の継承と都市間交流の推進						
	施策	01 芸術文化の振興						
目的	区民が芸術文化に触れる機会の拡充を図るとともに、地域の文化資源の発掘と積極的な情報発信を進める。							
対象者等	区民及び区外からの訪問者							
内容	①芸術文化振興プラン：平成30年度3月に改定したプランに掲げた施策を着実に推進する。 ②ディスカバーあらかわ：太平洋美術会、荒川区美術連盟と連携して区内の風景・風物をテーマとした作品を展示 ③西日暮里ギャラリー：西日暮里駅高架下の展示スペースを区民等に貸出（6か所、最長4週間） ④太平洋展：太平洋美術会が主催する太平洋展で優秀な作品2点に区長賞を授与 ⑤公共施設サイン：サインの清掃・修繕 ⑥JOBANアートライン協議会：常磐線沿線地域の活性化を図っていくことを目的とした協議会で、年に一度アートワークショップ等を開催 ⑦オリンピック・パラリンピック文化プログラム：東京2020大会の気運を醸成する文化プログラムとしてゆいアート展を実施							
経過	①芸術文化振興プラン：平成21年6月に策定、平成26年6月に改定、平成31年3月改定。 ②ディスカバーあらかわ：平成7年度より太平洋美術会の協力で実施。17年度から荒川区美術連盟の協力も得て一般公募形式で募集。平成19年度からは、絵画以外に版画・染織・彫刻の出品も可とした。 ③西日暮里ギャラリー：平成9年度に道路課が高架下の修景事業として設置。維持管理は道路公園課、運営は文化交流推進課。 ④太平洋展：平成9年度から、太平洋展にて荒川区長賞を授与している。 ⑤公共施設サイン：案内板について28年度にゆいの森設置により新たに11基を整備し、老朽化した案内板を順次撤去。平成29年度より事務費へ組み入れ。 ⑥JOBANアートライン協議会：平成18年協議会設立総会開催。平成29年度10周年記念シンポジウム開催。 ⑦オリンピック・パラリンピック文化プログラム：平成29年度から気運醸成事業として、ゆいアート展を実施。							
必要性	芸術を鑑賞したり、自ら芸術文化活動を行うことは、区民の生活をより豊かにすることを可能にするものである。こうした地域の文化振興への取り組みは、区の重要な役割である。							
実施方法	（ <input type="radio"/> 一部委託） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） ①推進会議の開催。②一般公募したものを展示し、優秀な作品に賞を授与。③申請を受け内容を審査。 ④太平洋展の初日に授与。⑤清掃・修繕を委託。⑥負担金を支出。⑦委託にて実施。							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			29年度	30年度	元年度	2年度見込み		目標値(8年度)
	①	ディスカバーあらかわ区民応募率(%)	50.4	60	53	54.3	65	
	②	ディスカバーあらかわ応募点数	109	95	100	101	150	
③	旧地区案内板撤去率(%)	70.0	80.0	100.0	-	100.0	元年度で旧型案内板の撤去を終了した。	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
2年度		3年度						
推進		推進						
地域の文化振興への取り組みは、区の重要な役割である。								

予算・決算額等の推移	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額	5,013	3,909	4,540	9,409	10,884	6,532	23,954
決算額 (2年度は見込み)	4,688	3,637	4,207	7,792	9,345	2,325	23,954
実績の推移	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名 (2年度は見込み)							
西日暮里ギャラリー展示件数	20	21	27	29	32	41	40
ディスカバーあらかわ応募点数	103	114	127	109	95	100	101
サイン設置数	30	29	32	31	30	28	28
サイン清掃数	30	29	20	21	30	28	28

予算・決算の内訳								
平成30年度 (決算)			令和元年度 (決算)			令和2年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
報酬	非常勤職員報酬	2,639	報酬	非常勤職員報酬	0	需用費	区長賞記念品、事務用品、印刷代他	557
共済費	非常勤社会保険	372	共済費	非常勤社会保険	0	役務費	サイン清掃費等	131
需用費	区長賞記念品、事務用品、印刷代他	885	需用費	区長賞記念品、事務用品、印刷代他	298	委託料	文化プログラム等	1,562
役務費	サイン清掃費等	342	役務費	サイン清掃費等	114		西日暮里文化施設設計費	20,644
委託料	文化プログラム等	4,337	委託料	文化プログラム等	1,157		ディスカバー付帯設備	189
使用料等	ディスカバー付帯設備	168	使用料等	ディスカバー付帯設備	172	負担金等	JOBAN協議会負担金	400
負担金等	JOBAN協議会負担金	400	負担金等	JOBAN協議会負担金	400			

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	30年度	元年度	差額		30年度	元年度	差額	
	給与関係費	9,200	8,785	▲ 415	地方税	0	0	0
	物件費	5,818	1,840	▲ 3,978	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	1,918	0	▲ 1,918
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	516	485	▲ 31	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	949	949
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,918	949	▲ 969
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,403	1,230	▲ 173	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 15,019	▲ 11,391	3,628
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	16,937	12,340	▲ 4,597	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 15,019	▲ 11,391	3,628
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 15,019	▲ 11,391	3,628

備考 行政費用では、委託料として物件費が多くかかっている。30年度は文化プログラム「日暮里図書館壁画制作」実施により物件費が増加した。行政収入では、オリンピック・パラリンピック競技大会機運醸成助成金949千円収入があった。

問題点・課題 ①「ディスカバーあらかわ」の応募点数及び区民の応募率、展覧会来場者数の増加に向けて、引き続き太平洋美術会、荒川区美術連盟と協力し、一層の周知を図る。
②公共施設サインについては、清掃、修理などのメンテナンス及び施設案内情報の追加、修正、削除など、サイン表示情報の適正な更新により維持管理を行う必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	他団体のイベント等でのチラシ配布など、新たな周知方法を検討・実施する。	団体会員へ周知、区報、区営掲示板、西日暮里ギャラリー、HP、各施設でのチラシ配布等で周知を図ったことにより応募点数が増加した。	効果のあった情報発信方法を活用し、応募点数及び区民率、展覧会来場者数の増加に向けて、周知に力を入れていく。
②	例年の定期清掃を実施するなど、適切な維持管理を図り、老朽化したものは撤去する。	定期清掃の実施でメンテナンスを行うとともに、老朽化した旧地区案内板については撤去が完了した。	定期清掃時に、修理や表示情報更新の必要性を確認し、速やかに対応する。
③			

他区の実況	(実施 0 区 未実施 0 区 不明 22 区)
-------	--------------------------

議会(要旨) 平成25年1定 公共施設サインについて
平成28年度決特 芸術文化振興基金の取り扱いについて
平成29年度11月会議 芸術文化振興基金の活用について
平成30年観光・文化推進調査特別委員会 芸術文化振興基金の活用について
令和2年度予特 ピクトグラム講演会(オリンピック・パラリンピック文化プログラム)について

事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	05-01-02	戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事		
事務事業名	地域活動支援事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	伊藤			
		担当者名	三浦	内線	2523			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-01-03	地域活動支援事業						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和	19年度	根拠	荒川区地域活動支援事業補助金交付要綱				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅶ	計画推進のために					
	政策	13	区民の主体的な区政参画と連携強化					
	施策	01	区民参画・協働の推進					
目的	1 豊かで住みよい地域社会を築くため、区民や区民団体等の地域活動を支援し、区政参画の機会を拡大するとともに、区民や区内団体等との協働の促進を図る。 2 職を離れた団塊世代の方々が地域の活動や区政運営に積極的に参画し、地域の人的資源として活躍できるよう支援する。							
対象者等	区民団体、定年退職後の区民、地域活動に関心のある区民等							
内容	1 地域活動サロン「ふらっと.フラット」の運営補助 （運営）荒川区社会福祉協議会（場所）生涯学習センター1階 （開所日）月～金：13:00～19:00（第1・3水金は13:00～21:00 祝祭日を除く） （内容）・地域活動の拠点となるサロンの運営、情報提供、相談、コーディネート 2 コミュニティ活性化推進事業の支援 ・地域のコミュニティ活動が活性化するように、荒川区内の団体が区民を対象として行う事業に対し支援を行う。							
経過	平成19年度	地域活動サロン「ふらっと.フラット」開設、団塊世代活動支援コーナー開設						
	平成20年度	南千住図書館における団塊世代の図書特集の開催（1～3月）						
		関係機関連絡会の開催（2回）						
	平成21年度	区報「地域活動特集号」の発行、関係機関連絡会の開催						
	平成22年度	職員向け協働ガイドラインの検討						
	平成25年度	職員向け協働ガイドラインの策定						
	平成27年度	事業を文化交流推進課に移管						
	平成29年度	開設10周年記念事業として、ユニークアイspecial「おとなたちの音楽と紙芝居」を実施、記念誌の作成						
	令和元年度	ユニークアイspecialをオリンピック・パラリンピックプレイヤー事業として実施						
必要性	多様化する区民ニーズに的確に応える区政運営のためには、区民の区政参画の機会拡大はもとより、区民や区内団体等との協働の促進が不可欠である。また、団塊世代を中心とした区民の地域活動の支援は、地域の活性化につながることから、その必要性は高い。							
実施方法	（ <input type="radio"/> 一部委託 <input checked="" type="radio"/> ） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） ふらっと.フラット：社会福祉協議会に対する運営費補助							
指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			29年度	30年度	元年度	2年度見込み		目標値(8年度)
	①	ふらっと.フラットの利用者数(人)	4421	4770	4988	4726	5000	相談、講座、場所利用、情報収集等
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
2年度		3年度						
継続	継続	区民や区民団体等の地域活動を支援し、協働を促進していくため、他部署とも連携しながら継続して実施する。						

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		6,663	6,507	6,422	6,740	6,671	6,525	7,535
決算額(2年度は見込み)		6,428	6,401	6,091	6,495	6,614	6,379	7,535
実績の推移	事項名(2年度は見込み)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
	ふらっと・フラットの事業数(回数)	31	36	37	37	43	46	40
予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
負担金補助等	地域活動支援事業補助金	6,517	負担金補助金等	地域活動支援事業補助金	6,376	負担金補助金等	地域活動支援事業補助金	7,535
償還金利子等	補助金返還額	97	償還金利子等	補助金返還額	3			

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	30年度	元年度	差額			30年度	元年度	差額	
行政費用	給与関係費	1,326	1,255	▲ 71	地方税	0	0	0	
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	4,347	4,347	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	6,614	6,379	▲ 235	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	4,347	4,347	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	301	176	▲ 125	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 3,894	▲ 3,463	431	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	8,241	7,810	▲ 431	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 3,894	▲ 3,463	431	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 3,894	▲ 3,463	431		

備考

元年度は事業費及び管理運営費が減少したため、行政費用の補助費等が減少した。

問題点・課題

・地域活動の裾野を広げ、地域力を高めるために、地域活動の担い手を増やしていく必要がある。
 ・より効果的に地域活動の支援等を行っていくため、他部署と連携し、適切な支援体制について検討する必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	オリパラ関連イベントとしてパラスポーツ選手による講座を開催するなど、引き続き多様な活動を展開していく。	オリパラ関連イベントとしてパラスポーツ選手による講座を開催し、気運醸成を図った。	引き続き、多様な地域活動を支援し、イベント等の周知に力を入れていく。
②	地域活動支援の在り方について、荒川コミュニティカレッジを始めとする関係団体と調整をしていく。	地域活動支援の在り方について、関係団体と調整のため打ち合わせを行った。	引き続き、荒川コミュニティカレッジを始めとする関係団体と、地域活動の在り方について調整していく。
③			

他区の実況	(実施 10 区 未実施 12 区 不明 0 区)
	ふらっと・フラットに類似したコミュニティサロンを開設する区の数
議会(要旨)質問状	平成20年4定：団塊世代の参画の推進について 平成22年1定：シルバーパワーの活用について 平成22年2定：新しい公共について

事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	05-01-03		戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事				
事務事業名	国内都市交流事業		部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課		課長名	伊藤	
			担当者名	勝		内線	2524	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-02-01	国内都市交流事業						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業 （ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度 ）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和 56 年度		根拠	荒川区自然体験を通じた青少年健全育成活動事業補助金交付要綱				
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 令和3 年度		法令等					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V 文化創造都市						
	政策	09 伝統文化の継承と都市間交流の推進						
	施策	02 国内・海外都市との交流の推進						
目的	生活環境や地域文化の異なる地域の人々との交流を深めることにより、区民に豊かな自然とのふれあいの場を提供し、区民の心の豊かさと相互の都市の活性化を図る。平成17年11月に策定した「荒川区都市間交流に関する取り組み方針」に基づき、国内の都市との交流を積極的に推進することにより、荒川区の魅力と活力を高め、より豊かな区民生活の実現をめざす。							
対象者等	区民							
内容	R元年度の主な交流事業（★：荒川区でのイベント） ★川の手荒川まつり出展：27自治体 ★交流都市フェア出展：13自治体 ★表敬訪問：3自治体 ☆国内都市交流ツアー：2自治体 ☆交流都市のイベント参加（業者派遣）：4自治体 ☆交流都市のイベント参加（出演）：3団体 ☆自然体験補助事業 4団体							
	R2年度の主な交流事業（予定）（★：荒川区でのイベント） ★川の手荒川まつり出展【中止】★交流都市フェア出展：11自治体 ★表敬訪問：4自治体 ☆国内都市交流ツアー：1自治体 ☆交流都市のイベント参加（業者派遣）：4自治体 ☆交流都市のイベント参加（出演）：3団体 ☆自然体験補助事業 5団体							
経過	※R2. 4. 1時点で29都市、交流開始順に記載、（）内は提携・協定締結年度 秩父市（旧荒川村）：S56姉妹提携、H7防災協定・21再調印、北杜市（旧高根町）：S58、大多喜町：S60（H7友好都市提携・防災協定）、鴨川市：S62（H3友好都市提携・H7防災協定）、上越市（旧吉川町）：S62（H7防災協定）、福島市：H6（H28. 2友好都市協定、H18防災協定）、桑折町：H6（H23防災協定）、石川町：H6（H8防災協定）、村上市（旧荒川町）：H8（R2. 3防災協定）、釜石市：H9（H11防災協定）、射水市（旧下村）：H11（H26防災協定）、鮭川村：H15（H24防災協定）、三条市：H15、福井県：H16、潮来市：H16（H30防災協定）、つがる市：H16、二本松市（旧東和町）：H17、小野町：H17、つくば市：H18（H20. 5友好都市提携、H24防災協定）、津南町：H19、大垣市：H19（H23防災協定）、米沢市：H20（産業連携協定締結）、広尾町：H21、成田市：H22、印西市：H22、南アルプス市：H24、佐渡市：H26、真室川町：H27、みなべ町：H27							
必要性	国内の都市との交流を深めることで、荒川区の魅力と活力を高めるとともに、災害時の相互応援を図ることが期待できる。							
実施方法	（ <input type="radio"/> 一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員 ） 国内都市交流ツアーの一部を委託							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			29年度	30年度	元年度	2年度見込み		目標値(8年度)
	①	国内交流都市ツアー参加者数	91	107	93	60	150	
	②	あらかわキャラバン派遣団体数	1	2	2	0	4	2年度は派遣先の交流都市イベントが感染症拡大防止で開催中止
③	日暮里駅前イベント広場・交流都市フェア開催数	3	2	1	1	-	元年度は感染症拡大防止により春まつりを中止、2年度も中止検討	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
2年度		3年度						
重点的に推進	重点的に推進	まちの魅力と活力を高め、災害時の相互応援を図るため、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による新しい生活様式に対応した交流方法での実施を重点的に推進する。						

予算・決算額等の推移	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	
予算額	1,272	1,976	11,280	11,212	12,271	11,447	10,490	
決算額(2年度は見込み)	1,155	1,612	7,695	6,613	8,283	4,709	10,490	
実績の推移	事項名(2年度は見込み)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
	交流都市数	28	29	29	29	29	29	29
	交流都市ツアー応募者数			429	240	358	328	300

予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	まつり・出展謝礼	260	報償費	まつり・出展謝礼	315	報償費	まつり・出展謝礼	490
旅費	交流都市事業等出張旅費	188	旅費	交流都市事業等出張旅費	274	旅費	交流都市事業等出張旅費	365
需用費	交流都市等訪問時贈い、土産等	476	需用費	交流都市等訪問時贈い、土産等	406	需用費	交流都市等訪問時贈い、土産等	878
役務費	キャラバン派遣団体交通費	657	役務費	キャラバン派遣団体交通費	11	役務費	キャラバン派遣団体交通費	43
委託料	交流都市フェア会場設営等	5,566	委託料	交流都市フェア会場設営等	2,742	委託料	交流都市フェア会場設営等	6,441
使用料等	キャラバン派遣バス借上げ代	546	使用料等	キャラバン派遣バス借上げ代	357	使用料等	キャラバン派遣バス借上げ代	943
負担金等	日暮里街づくり実行委員会補助金等	905	負担金等	日暮里街づくり実行委員会補助金等	604	負担金等	日暮里街づくり実行委員会補助金等	1,330

行政コスト計算書	勘定科目		30年度	元年度	差額	行政収入	勘定科目		30年度	元年度	差額
	行政費用	給与関係費	12,819	11,714	▲ 1,105		地方税	0	0	0	
		物件費	7,119	3,779	▲ 3,340		国庫支出金	3,482	0	▲ 3,482	
		維持補修費	0	0	0		都支出金	0	0	0	
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0	
		補助費等	1,165	929	▲ 236		使用料及び手数料	0	0	0	
		減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	3,482	0	▲ 3,482	
		賞与・退職給与引当金繰入額	2,907	1,640	▲ 1,267		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 20,528	▲ 18,062	2,466	
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0	
		行政費用合計(b)	24,010	18,062	▲ 5,948		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 20,528	▲ 18,062	2,466	
		特別費用(g)	0	0	0		特別収入(f)	0	0	0	
		特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 20,528	▲ 18,062	2,466	

備考 行政費用では、物件費が多くかかっている。内訳としては、にっぽり秋まつりの運営及び会場設営委託料等に2,255千円、国内交流都市ツアーの委託料に487千円かかっている。令和元年度はにっぽり春まつり中止により、前年度に比べ物件費が大幅に減少した。

問題点・課題 新型コロナウイルス感染症予防のため、広域的な移動を控える動きや三密の回避が求められていることから、新しい生活様式に対応した、国内都市との交流方法について検討が必要である。

問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	既に交流を重ねている潮来市との自然体験交流や北杜市との囲碁を通じた文化交流を行い、関係を一層深めていく。	潮来市の稲刈り交流会では区民と潮来市民がアトラクションを通してお互いのまちについて知る機会を設けるなど、より交流が深まった。	自然体験交流やキャラバン事業による団体派遣については、交流都市と協議しながら、実施方法を検討する。
②	交流都市からの提案も積極的に受け入れ、お互いにとって効果的な交流について調整する。	大垣市ツアーでは地元ガイドと区民ボランティアガイドとの交流の機会を設けるなど、市や観光協会の提案により充実した交流ができた	国内交流都市ツアーについては、災害時の相互応援等の連携を深めるもので、感染防止を図りながら、時期や内容を検討する。
③	—	日暮里駅前イベント広場の交流都市春まつりは感染症拡大防止により中止した。	感染症拡大防止による新しい生活様式に対応するため、交流都市フェアの開催については、実施方法等の見直しを検討する。

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
-------	--------------------------

議会(要旨)質問状	平成28年度9月会議 平成28年度決特	区民が農業・森林整備等の体験ができる交流事業について 自然体験事業の必要性について
-----------	------------------------	--

事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	05-01-04	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事	
事務事業名	国際交流協会補助	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	伊藤		
		担当者名	安藤	内線	2526		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-03-01	国際交流協会補助					
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 2年度 <input type="checkbox"/> 元年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和	5年度	根拠	荒川区国際交流協会補助金交付要綱			
終期設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	令和3年度	法令等	設立趣意書			
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	02	国内・海外都市との交流の推進				
目的	区民の国際交流活動の拠点として、国際交流事業を推進し、外国都市との友好親善と区民の国際理解を深めながら荒川区の国際化を図り、荒川区を世界に開かれた夢のあるまちとすることを目的とする。（協会会則第3条）						
対象者等	荒川区国際交流協会 設立 平成5年10月21日 組織 理事15人、事務局8人（区職員兼務）、監事2人 会員 賛助会員（169名）、協力会員（370人） ※令和2年1月1日現在						
内容	≪荒川区国際交流協会の主な事業≫ ※（ ）内は開始年度 <input type="checkbox"/> 在住外国人支援事業 日本語教室（13年度：5～12年度では区事業）…年間132回（66回×2コース） <input type="checkbox"/> 国際理解・啓発事業 日本語サロン（10年度）…週1回×2コース、外国人おもてなし講座（27年度）、世界の料理教室（24年度）、広報宣伝活動…協会便り（年1回発行）事務局便り（月1回発行）、ライフサポートニュース（年1回発行） <input type="checkbox"/> 区民相互の交流事業 川の手荒川まつり出展、日本語スピーチ大会（7年度）、外国人のための防災講座、国際交流バスハイク（6年度）、茶道教室（13年度）、華道教室（23年度） <input type="checkbox"/> 世界の国々との交流事業 ウィーン市ドナウシュタット区との交流事業、外国からのインターン大学生受入（17年度）、日澳親善コンサート（26年度）、済州青少年国際フォーラムへの高校生派遣（26年度）						
経過	自主財源率（会費及び事業収入等）の推移 ・12年度までは総収入の15%程度であった ・15年度以降は、区補助金の見直し、賛助会員や受益者負担の見直しにより45%となる ・17年度は済州市、大連市中山区との友好都市提携に伴う、区補助金の増により38%となる ・18年度以降は30%～40%台で推移している。 協会25周年 30年度に協会設立25周年を迎えた。主に5年以上協会事業に協力いただいた方66名、4団体を表彰し、感謝のつどいを行った。						
必要性	交流都市との交流事業や在住外国人への支援、交流を推進し、区民の国際理解を深めるとともに、多文化共生の地域社会を実現するため、協会への支援は必要である。						
実施方法	（ <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> ） （直営の場合 <input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 <input type="checkbox"/> 臨時職員） 協会の派遣依頼により、地域文化スポーツ部長は事務局長、課長は事務局次長、都市交流係員は事務局員を兼職。						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値（8年度）	
	① 協力会員・賛助会員数	524	540	539	550	670	個人+団体数 ※28年度中に協会員登録精査
	② 協会事業参加者数	4,500	4520	4550	2500	4,700	日本語教室等は延べ人数
③ 通訳ボランティア養成講座数	2	2	2	2	4		
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
2年度	3年度						
重点的に推進	重点的に推進	区民主体の国際理解・交流の推進母体として支援する必要がある、重点的に推進する。					

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		6,147	6,147	6,636	6,636	6,636	6,636	5,852
決算額 (2年度は見込み)		5,727	4,532	4,925	4,274	4,713	3,394	5,852
実績の推移	事項名 (2年度は見込み)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
	協力会員 (人数)	501	525	536	336	350	370	380
	賛助会員 (件数：団体+個人)	114	208	163	188	190	169	180
	補助金の協会事業に占める割合 (%)	63.3	55.0	56.1	55.0	55.0	55.0	55.0
予算・決算の内訳								
平成30年度 (決算)			令和元年度 (決算)			令和2年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
負担金補助等	国際交流協会補助	4,713	負担金補助等	国際交流協会補助	6,636	負担金補助等	国際交流協会補助	5,852

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	30年度	元年度	差額		30年度	元年度	差額	
	給与関係費	8,841	7,948	▲ 893	地方税	0	0	0
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	4,713	3,394	▲ 1,319	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計 (a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,005	1,113	▲ 892	行政収支差額 (a)-(b)=(c)	▲ 15,559	▲ 12,455	3,104
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額 (d)	0	0	0
	行政費用合計 (b)	15,559	12,455	▲ 3,104	通常収支差額 (c)+(d)=(e)	▲ 15,559	▲ 12,455	3,104
	特別費用 (g)	0	0	0	特別収入 (f)	0	0	0
	特別収支差額 (f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額 (e)+(h)	▲ 15,559	▲ 12,455	3,104

備考

行政費用では、国際交流協会への補助金として、補助費等が多くかかっている。

問題点・課題

・外国人住民の増加に伴い日本語教室や日本語サロンの参加希望が増してきたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により外国人の入国が規制されたため、新規の参加がない状況にある。規制解除後、感染症防止対策を踏まえて、新しい形態での事業の実施方法を検討する必要がある。

・通訳ボランティアが、専門的な区の行政サービスに関する内容に対応できるよう、定期的に研修等を行う必要がある

問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	日唄修好150周年なので、関連イベントを行う地域団体の支援を行うなど、オーストリアについて理解が深まるよう取り組む。	150周年関連イベントとして日唄親善リサイタルを実施し、オーストリアへの理解促進を図るとともに、ボランティア等募集のPRを行った。	教室やイベントを実施するために非接触式体温計や消毒液などを整備するほか、講師と連携を図り実施方式の変更を検討していく。
②	通訳ボランティアに対し、現況及び意向調査を行い、結果を踏まえたスキルアップ講座を実施する。	意向調査を行った結果、通訳ボランティアの心構えの講座を実施したところ11名が参加し、参加者からも好評だった。	通訳ボランティアについては、感染症流行などの状況を注視しながら、適切な時期に研修を企画する。
③			

他区の実況	(実施 8 区 未実施 14 区 不明 0 区)
	国際交流設置自治体※東京都国際交流委員会HPより
議会議事録(要旨)	

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		12,552	13,459	40,741	14,225	14,629	14,967	16,537
決算額(2年度は見込み)		11,692	13,292	33,162	13,430	12,602	12,641	16,537
実績の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名(2年度は見込み)								
海外出張旅費支出人数		6	12	27	10	6	7	6
海外受入・訪問団体数		10	14	18	15	7	3	5
予算・決算の内訳		平成30年度(決算)		令和元年度(決算)		令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報酬	国際交流推進員報酬	9,912	報酬	国際交流推進員報酬	10,279	報酬	国際交流推進員報酬	9,333
共済費	国際交流推進員社会保障費	1,434	共済費	国際交流推進員社会保障費	1,429	職員手当等	国際交流推進員期末手当	1,762
旅費	交流都市訪問等	829	旅費	交流都市訪問等	1,143	共済費	国際交流推進員社会保障費	1,701
需用費	交流都市訪問団受入時贈い等	80	需用費	交流都市訪問団受入時贈い等	88	旅費	交流都市訪問等	2,908
役務費	交流都市訪問時入出国税等	8	役務費	交流都市訪問時入出国税等	9	需用費	交流都市訪問団受入時贈い等	616
使用料及び賃借料	携帯電話等レンタル料	33	使用料及び賃借料	携帯電話等レンタル料	35	役務費	交流都市訪問時入出国税等	176
						使用料及び賃借料	携帯電話等レンタル料	41

行政コスト計算書	勘定科目		30年度	元年度	差額	行政収入	勘定科目		30年度	元年度	差額
	給与関係費		17,784	17,255	▲ 529		地方税		0	0	0
物件費		1,007	1,243	236	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		0	0	0	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		0	0	0	使用料及び手数料		0	0	0		
減価償却費		0	0	0	その他		0	0	0		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		0	0	0		
賞与・退職給与引当金繰入額		1,403	820	▲ 583	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 20,194	▲ 19,318	876		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		20,194	19,318	▲ 876	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 20,194	▲ 19,318	876		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 20,194	▲ 19,318	876		

備考

行政費用では、交流都市への訪問旅費として、物件費が多くかかっている。元年度は30年度と比べてドナウシュタット区高校生相互派遣事業の引率者が1名多かったため、物件費が増加した。

問題点・課題

友好交流都市であるウィーン市ドナウシュタット区、済州市、大連市中山区について、広く区民に紹介するとともに、交流実績をPRし、交流事業への理解と参加を促す。また、区民主体の交流が広がるよう事業の後援を通じて区内の地域団体を支援していく。
ホストタウン事業を通じてオリンピック・パラリンピックへの機運を高める。

問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	海外交流都市及び交流事業について区民の認知度を高めるべく、本庁舎1階の展示等の充実を図る。	ドナウシュタット区高校生受入時、及び日暮里ファッションショーの際にポスターや過去の贈り物を展示した。	学校などと協力しながらオリ・パラに関連した交流都市やホストタウン事業を実施する。
②	—	—	新型コロナウイルス拡大により、海外交流事業が中止・延期となっている。今後、感染予防を徹底し、海外交流都市との交流方法を検討する。
③			

他区の実況	(実施 20 区 未実施 2 区 不明 0 区)
	姉妹・友好都市提携状況
議会(要旨)質問状	平成28年度9月 済州市・大連市中山区との継続的な交流推進について 平成28年度決特 国際交流の現状と今後について(文化団体の交流事業) 平成28年度11月 国際交流の推進について

事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	05-01-06	戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事					
事務事業名	彫刻の街づくり事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	伊藤			
		担当者名	沖本・松井・富田	内線	2522			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-04-01	彫刻の街づくり事業費						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業 (<input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度)		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和 60 年度		根拠					
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 令和3 年度		法令等					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	緑の多い広場、公園やゆったりとした歩道など、区民の多くが憩い、集う場所に彫刻を設置し、新しい景観、ゆとりと潤いの空間を区民に提供する魅力あるまちづくりを推進することを目的とする。							
対象者等	区民及び区外からの訪問者							
内容	<input type="radio"/> 彫刻作品の設置 生活にゆとりとやすらぎを創りだし、住み続けたい街、魅力ある街づくりの一環として彫刻を設置し、適切に管理するものである。 <設置場所の基本的な考え方> ①区民や区外の人が多く利用する場所（本庁舎前、主要駅、多数の区民の集う拠点施設、公園等） ②特定区民の利用する場所（学校、校外教育施設等） 設置場所、設置施設に適したシンボル性や親しみを感じられるものを設置してきた経緯がある。							
経過	<input type="radio"/> 彫刻作品の設置 ・「緑と彫刻の街づくり事業」として昭和60年度から公共の広場、公園、道路などに計144作品（うち寄贈95作品）を設置。（令和2年3月時点） ・平成15年から平成18年は新規の設置は行わず、清掃・メンテナンス及び修繕のみ行ってきた。 ・平成19年度以降は東京藝術大学との連携事業として卒業・修了作品の中から区長賞受賞作品を設置。 ・平成29年度寄贈された極彩色木彫作品48作品を区有施設に設置。 ・平成30年5月寄贈された「山吹の花一枝」像を日暮里駅前に設置。 ・平成31年3月荒川総合スポーツセンター改修工事に伴い、周辺の彫刻5作品を野球場周辺へ移設。 <input type="radio"/> インプログレス作品「汐入タワー」の管理 ・平成23年3月に都立汐入公園（南千住8丁目）内に設置、竣工。 ・平成29年8月1日にクロージングイベントを実施し、作品の展示を終了。							
必要性	彫刻は、街にゆとりとうるおいを創出し、地域文化の向上と区のイメージアップを図るため設置してきた。「豊かさの実感できる社会」の創造が求められるなか、設置した彫刻が区民に親しまれるよう適切に管理していくことが重要である。							
実施方法	（ <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> ） （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員 ） 彫刻作品の設置：彫刻作品の清掃・メンテナンスを行い、作品を適切に管理する。							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			29年度	30年度	元年度	2年度見込み		目標値(8年度)
	①	彫刻の修繕完了率(%)	100	100	100	100	100	修繕完了数（年度内）/修繕必要数
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
2年度		3年度						
継続	推進	これまでに区内に設置した彫刻作品を活用して、新しい景観、ゆとりと潤いの空間を区民に提供するために、彫刻作品の適切な管理と魅力の発信を推進する。						

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		4,758	5,837	9,885	12,701	6,670	2,463	2,155
決算額(2年度は見込み)		4,342	4,051	2,857	11,412	5,299	575	2,155
実績の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名(2年度は見込み)								
彫刻の清掃メンテナンス(体)		51	62	53	54	68	49	55
彫刻の修繕数(体)		2	1	1	2	0	0	1
区内の彫刻数(体)		83	87	89	139	142	144	146
設置数		3	4	2	50	3	2	2
予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
需用費	展示ケース修繕	15	需用費	彫刻修繕、消耗品	0	需用費	彫刻修繕、消耗品	310
委託料	彫刻清掃、彫刻移設	3,647	委託料	彫刻清掃・壁画清掃	575	委託料	彫刻清掃・壁画清掃	845
工事請負費	彫刻設置工事	838	備品購入費	芸術作品購入費	0	備品購入費	芸術作品購入費	1,000
備品購入費	彫刻台座	799						

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	30年度	元年度	差額		30年度	元年度	差額	
	給与関係費	1,768	1,673	▲ 95	地方税	0	0	0
	物件費	4,461	575	▲ 3,886	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	401	234	▲ 167	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 7,468	▲ 2,482	4,986
	その他行政費用	838	0	▲ 838	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	7,468	2,482	▲ 4,986	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 7,468	▲ 2,482	4,986
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 7,468	▲ 2,482	4,986

備考

行政費用では、彫刻移設委託の実績がなかったため、物件費が減少した。30年度のその他行政費用は、総合スポーツセンターリニューアル工事における彫刻設置工事費である。

問題点・課題

・設置して年数の経つ作品もあることから、例年の定期清掃時に安全点検を行い、必要な場合は補修等を行い適切な維持管理を行う。
 ・まちの中にある身近な芸術鑑賞として区民に親しんでもらえるよう、ホームページやSNSの活用等により、区内に設置している彫刻作品のPRを強化する必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	定期清掃時に彫刻の不具合がないか確認点検し、必要があれば修繕を行う。	彫刻の清掃及び不具合がないか確認点検を行った。	定期清掃時に彫刻の不具合等について確認点検し、必要に応じて適切に修繕を行う。
②	彫刻作品について観光振興の視点を考慮しながら一層のPRを図る。	日暮里駅前の彫刻をイベントカレンダーに掲載し、観光と連携したPRを行った。	区ホームページのリニューアルに合わせて、彫刻作品等の掲載内容の充実を図り、魅力を高めるとともに更なるPRを図る。
③			

他区の実況	(実施)		未実施		不明	
	22	区	0	区	0	区
議会議事録(要旨)	平成25年予特	彫刻等のPRについて	平成27年決特	汐入タワーの安全管理について	平成27年予特	彫刻の適切な設置場所について

事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	05-01-07	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	音楽のまちづくり推進事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	伊藤			
		担当者名	三浦	内線	2523			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-05-01	音楽のまちづくり推進事業費						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 2年度 <input type="checkbox"/> 元年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和 61 年度	根拠	東京荒川少年少女合唱隊補助金交付要綱					
終期設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 令和3 年度	法令等						
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	音楽を中心とする地域文化の振興を図り、区の芸術文化の向上に寄与することを目的とする。区に本拠地を置く東京荒川少年少女合唱隊は、合唱活動を通じて荒川区のイメージアップと区民の文化的水準の向上、青少年の健全育成に大きく貢献していることから、区が補助金を交付し活動を支援することで、荒川区の文化振興を図る。							
対象者等	東京荒川少年少女合唱隊 代表：大村 光彦 指揮者：米谷 毅彦 団員数：32名							
内容	≪合唱隊への補助≫ 合唱隊の活動に要する経費について、補助し、活動を支援する。 ≪参考≫合唱隊の主な活動状況 平成30年度 ・定期演奏会、JR日暮里駅クリスマスイベント等、区内外のイベントで活動 ・交流都市である岩手県釜石市主催の「市民合唱祭」へゲスト出演 ・「ゆいの森あらかわ」にてミニコンサートを8月、3月に実施 令和元年度 ・定期演奏会、JR日暮里駅クリスマスイベント等、区内外のイベントで幅広く活動 ・「ゆいの森あらかわ」にてミニコンサートを6月、10月に実施							
経過	昭和40年に創立され、区内外で幅広く活動している。 ≪合唱隊による演奏≫ ①区内での公演 平成15年度～18年度：区役所玄関ロビーにて年2回ミニコンサートを開催 平成17年度に、創立40周年記念のため記録ビデオ「こころで唄いあげた日々 東京荒川少年少女合唱隊40周年、そして未来へ」を作成。 平成22年度～：クリスマスツリー点灯式（ハッピートイズプロジェクトJR日暮里駅コンコース） ※このほか、荒川区新年祝賀会で合唱を披露している。 ②あらかわキャラバン事業による派遣 平成23年度釜石市、平成24年度秩父市、平成25年度北杜市、平成30年度釜石市へ派遣							
必要性	荒川区のイメージアップ、青少年の健全育成や音楽を中心とした地域の芸術文化活動の広がりをもたらすため、全国的に知名度の高い合唱隊の活動を今後も支援していく必要性がある。							
実施方法	（1直営） （直営の場合 <input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤 <input type="checkbox"/> 臨時職員） 補助金の支出については、補助要綱に基づき、事業内容を審査の上、補助金額を決定している。							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			29年度	30年度	元年度	2年度見込み		目標値(8年度)
	①	定期演奏会来場者数(%)	75	80	69	78	100	会場の定員の9割を100とした場合の割合
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
2年度	3年度							
継続	継続	合唱活動を通じた区のイメージアップと区民の文化的水準の向上、青少年の健全育成の事業であるため、継続して実施する。						

予算・決算額等の推移	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852
決算額 (2年度は見込み)	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852
実績の推移	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名 (2年度は見込み)							
隊員数	30	33	28	28	30	32	30
定期演奏会来場者数	950	362	818	815	700	724	800
演奏回数	10	19	16	11	15	15	15

予算・決算の内訳							
平成30年度 (決算)			令和元年度 (決算)			令和2年度 (予算)	
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項
負担金補助等	合唱隊に対する補助金	1,852	負担金補助等	合唱隊に対する補助金	1,852	負担金補助等	合唱隊に対する補助金

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目		
	30年度	元年度	差額		30年度	元年度	差額
	給与関係費	884	837	▲ 47	地方税	0	0
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0
	補助費等	1,852	1,852	0	使用料及び手数料	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計 (a)	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	200	117	▲ 83	行政収支差額 (a)-(b)=(c)	▲ 2,936	▲ 2,806
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額 (d)	0	0
	行政費用合計 (b)	2,936	2,806	▲ 130	通常収支差額 (c)+(d)=(e)	▲ 2,936	▲ 2,806
	特別費用 (g)	0	0	0	特別収入 (f)	0	0
	特別収支差額 (f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額 (e)+(h)	▲ 2,936	▲ 2,806

備考

行政費用では補助費等が多くかかっている。内訳としては東京荒川少年少女合唱隊への補助金である。

問題点・課題

- ・団体の意向を踏まえながら、地域等と連携した効果的な支援を行っていく。
- ・区の行事への参加をはじめ、活動の機会や場所についての情報提供を区から積極的に行い、あわせて団体の広報活動についても支援を行っていく。

問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	引き続き、合唱隊の活動を支援し、演奏会等の周知を行う。	区内外での演奏会等の活動について、支援を行った。	新しい生活様式に対応した活動が再開できるよう、団体の意向を踏まえながら活動を支援し、演奏会等の周知を行う。
②			
③			

他区の実況	(実施 12 区 未実施 0 区 不明 10 区)
議会議決(要旨)	

事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	05-01-08	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事	
事務事業名	東京藝術大学との連携事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	伊藤		
		担当者名	松井	内線	2521		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-06-01	東京藝術大学との連携事業費					
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 2年度 <input type="checkbox"/> 元年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input type="checkbox"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和	21 年度	根拠				
終期設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	令和3 年度	法令等				
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="checkbox"/> 計画 <input type="checkbox"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	01	芸術文化の振興				
目的	荒川区の隣接地に所在し、我が国の芸術文化の発展に大きな役割を果たしている国立大学法人東京藝術大学と、芸術・文化振興に係る事業はもとより、幅広く区行政全体にわたって相互の人材及び物的資源を最大限に生かした緊密な連携のもとに協力して事業を実施し、区における芸術文化の振興を図る。						
対象者等	東京藝術大学関係者、区民等						
内容	<p>(1) 東京藝術大学卒業生グループ「アプリュス」（以下「A+」）と協力し、次代の芸術文化活動の担い手となる子どもを育むためのワークショップ（以下、「W.S.」）や講座、公開制作など芸術教育事業の実施、区民の芸術文化活動の振興のため展覧会や制作講座などの企画実施を行い、芸術文化を介した交流の機会を提供する。</p> <p>(2) 19年度から、東京藝術大学卒業・修了予定者が制作する彫刻作品を対象に荒川区長賞を授与し、受賞作品を区内に設置している。（22年度より「緑と彫刻の街づくり事業」から本事業に組替）</p> <p>(3) 22・24・25・26・28・30年度にA+に委託して地域と協力し壁画制作を実施。</p> <p>(4) 東京藝術大学音楽学部と連携し、卒業生・在学生等の若手演奏家によるコンサート等を区内施設にて実施し、区の文化・芸術振興をはかる。</p>						
経過	<p>H20年度：「国立大学法人東京藝術大学・荒川区 芸術・文化振興のための連携に係る合意書」締結</p> <p>H21年度：水道局旧工業用水道事務所（以下、「旧水道局南千住施設」）をA+が使用（～H24.8）、W.S開催</p> <p>H22年度：常磐線第2三ノ輪ガード壁画制作、W.S(4講座) H23年度：W.S(6講座)</p> <p>H24年度：東日暮里第1・第2辻元ガード間壁画制作、W.S(6講座)、</p> <p>H25年度：常磐線第3三河島ガード下壁画（南千住側）制作、W.S(10講座)</p> <p>H26年度：常磐線第3三河島ガード下壁画（東日暮里側）制作、W.S(6講座)、</p> <p>H27年度：旧水道局南千住施設を転貸借、W.S(8講座)、区PR映像作成、</p> <p>H28年度：常磐線日暮里7号線ガード下壁画制作、W.S開催(22講座) H29年度：W.S(21講座)、コンサート2回</p> <p>H30年度：旧水道局南千住施設の転貸借終了(5月)、連携10周年事業(コンサート、ゆいアート展)、W.S(20講座)、日暮里図書館壁画制作</p> <p>R1年度：コンサート（サニーホール、ゆいの森）、W.S(22講座)、南千住図書館ペイント画制作</p>						
必要性	区民が身近なところで、質の高い芸術作品や芸術家に触れる機会を創出することは、区民の自主的な文化活動の促進につながるため、必要性が高い。						
実施方法	<p>（<input type="checkbox"/> 一部委託）（直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤 <input type="checkbox"/> 臨時職員）</p> <p>東京藝術大学音楽学部や、A+（アプリュス）に委託して実施している。</p>						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値(8年度)	
	① 藝大と連携した事業への参加者数	1,761	1,501	1,717	630	700	保育園向けW.S見直しによる減
	② 区民との共同による壁画制作	5	6	7	7	9	壁画の制作数
③ 子どもへの芸術教育の推進	15	15	19	5	5	幼児を対象とした事業数	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
2年度	3年度						
重点的に推進	推進	これまで東京藝術大学との連携により実施してきたワークショップや壁画を活用して、区民に身近な場所で質の高い芸術作品・芸術家と接する機会を提供していくため、推進する。					

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		7,179	27,860	30,100	30,009	28,047	12,894	4,759
決算額 (2年度は見込み)		6,666	17,905	28,484	24,369	10,767	9,382	4,759
実績の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名 (2年度は見込み)								
実施事業数		7	8	8	9	10	8	5
藝大卒業修了制作作品数累計		16	18	20	22	24	26	28

予算・決算の内訳								
平成30年度 (決算)			令和元年度 (決算)			令和2年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
報償費	奨学金、ワークショップ講師等謝礼	2,050	報償費	奨学金、ワークショップ講師等謝礼	2,014	報償費	奨学金、ワークショップ講師等謝礼	2,101
需要費	消耗品購入	122	需要費	消耗品購入	91	需要費	消耗品購入	85
役務費	賞状筆耕	31	役務費	賞状筆耕	7	役務費	賞状筆耕、調律料	33
委託料	ワークショップ委託	5,286	委託料	ワークショップ委託	5,933	委託料	ワークショップ委託	921
使用料等	水道局旧工水事務所賃料	2,924	使用料等	コンサート会場使用料	99	使用料等	コンサート会場使用料	129
使用料等	コンサート会場使用料	95	工事請負費	卒業作品設置工事	1,238	工事請負費	卒業作品設置工事	1,490
備品購入費	卒業作品展示ケース	259						

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	30年度	元年度	差額	30年度		元年度	差額		
行政費用	給与関係費	5,305	5,857	552	地方税	0	0	0	
	物件費	8,718	6,130	▲ 2,588	国庫支出金	1,453	0	▲ 1,453	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	1,714	1,714	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	2,050	2,014	▲ 36	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	2,925	525	▲ 2,400	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	4,378	2,239	▲ 2,139	
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,203	820	▲ 383	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 12,898	▲ 13,820	▲ 922	
	その他行政費用	0	1,238	1,238	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	17,276	16,059	▲ 1,217	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 12,898	▲ 13,820	▲ 922	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 12,898	▲ 13,820	▲ 922		

備考 行政費用では、委託料及び使用料として物件費が多くなっている。元年度は南千住図書館ペイント画制作や保育園音楽ワークショップを実施した。行政収入の都支出金は、スポーツ振興等事業費補助金（東京2020大会に係る気運醸成事業等に対する補助事業）である。

問題点・課題 ①より多くの区民が、身近なところで芸術文化に触れる機会を増やすために、様々な場所で東京藝術大学と連携した事業を実施する必要がある。
②地域の魅力発信となり、地域住民から愛される壁画を制作するため、制作の過程等に地域住民の参加を促す必要がある。また、様々な機会を用いて既存作品を紹介し、作品の周知を図る必要がある。
③連携10年を超えたことを踏まえて、引き続き、方向性（充実、見直し等）を検討していく。

問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	音楽学部との連携事業として、東京2020大会の気運を高める音楽コンサートを行う。	日暮里サニーホールで「世界の音楽巡りコンサート」、ゆいの森あらかわで親子向けの「打楽器コンサート」を実施した。	芸術文化に触れる新たな機会として、ゆいの森あらかわ等の区立施設の特性を活用した子ども向けワークショップを開催する。
②	オリンピック・パラリンピック文化プログラムの一環として、地域の魅力を発信する壁画を制作する。	南千住図書館入口に、施設や地域の魅力発信につながる「奥の細道」を題材としたペイント画を地域の子供たちと協力して制作した。	壁画やアートペイント画について、既存作品の認知度を高めるため、SNS等を活用した周知に取り組む。
③	過去10年間の連携事業を検証し、今後の方向性について検討する。	連携事業の一部について、内容等を再検証し、予算の見直しを実施した。	これまでの連携の成果を踏まえて、今後の事業の方向性を検討していく。

他区の実況	(実施 5 区 未実施 17 区 不明 0 区)
	・壁画の実施区の数

況 議 平成27年度9月会議 南千住水道局跡地・東京藝術大学活動拠点での映像分野の取り組みの充実について
 会 令 令和元年度9月会議 南千住図書館入口のペイント画の概要について
 質 問 状

事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	05-01-09	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	俳句文化振興事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	伊藤			
		担当者名	工藤	内線	2521			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-07-01	俳句文化振興事業						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 2年度 <input type="checkbox"/> 元年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和 27 年度	根拠						
終期設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	令和3 年度	法令等					
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	「荒川区俳句のまち宣言」に基づき、俳句のまちであることを区内外へ強く発信し、子どもから大人まで俳句文化の裾野を広げ、豊かな心を育むとともに、矢立初めの地千住を始めとした俳句に縁のある観光スポットを、区内外に向け広くPRすることで、誘客を促進し、地域の賑わいを創出する。							
対象者等	区民及び区外からの来訪者、俳句サミット加盟自治体等							
内容	≪令和元年度の主な取組≫ ①かぞ句会（子育て世代向け・託児付き）の実施 ②子育て俳句フォーラム（託児付き）の実施 ③あらかわ俳句吟行会の実施（5月、9月） ④子規・漱石句あわせin日暮里の開催 ⑤俳句ミニ講習会の実施（北豊島学園） ⑥「俳句のまちあらかわ賞」の提供（1俳句団体） ⑦松山俳句ポストの管理 ⑧宣言5周年記念荒川区俳句ポスト入選句集作成 ⑨あらかわ俳壇入選句等の都電内掲示 ⑩PRグッズの制作（一筆箋・ボールペン等） ⑪投句箱の増設（3箇所） ⑫あらかわ俳壇小中学生スペシャルの実施							
経過	南千住は「奥の細道矢立初めの地」であり、ひぐらしの里（日暮里）や道灌山（日暮里）など、多くの文人達が足跡を残した俳句ゆかりの地である。これまでも、子ども俳句相撲大会の開催や奥の細道サミットへの参加、むすびの地・大垣市との交流、区内小中学校における取組等を通じて俳句文化の振興を図ってきた。 平成27年3月14日 奥の細道千住あらかわサミットにて「荒川区俳句のまち宣言」を発表 平成27年度：あらかわ俳壇、俳句宣言銘板・俳句タイルの制作・設置、PRグッズ、俳句手帳の作成 平成28年度：英語俳句手帳の作成、俳句ハイク、俳句PR映像の制作、あらかわ俳壇、あらかわ句会 平成29年度：俳句ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会加入、中高生俳句バトルin開成、あらかわ俳壇 平成30年度：現代俳句協会青年部連携シンポジウムへの協力、子規・漱石句あわせin日暮里 令和元年度：荒川区俳句のまち宣言5周年記念事業として「荒川区俳句ポスト入選句集」作成 在宅中の小中学生に向けて「あらかわ俳壇小中学生スペシャル」を実施							
必要性	俳句ゆかりの地として、俳句文化の更なる振興を図り、豊かな俳句の心を育み、幸せと活気に満ちた魅力あふれる荒川区をめざすとともに、俳句による地域振興・観光振興等を図ることができる。							
実施方法	（ <input type="checkbox"/> 一部委託） （直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤 <input type="checkbox"/> 臨時職員） ・令和元年度から「あらかわ俳壇」の投句用紙回収業務を委託							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			29年度	30年度	元年度	2年度見込み		目標値(8年度)
	①	投句事業への投句数	1535	1672	1752	1850	2500	2年度は1事業が中止
	②	俳句ポスト設置数	10	14	17	20	25	
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
2年度		3年度						
重点的に推進	重点的に推進	俳句文化の裾野を広げる事業であるため、重点的に推進する。						

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		0	4,474	3,213	4,503	8,045	3,377	3,063
決算額(2年度は見込み)		0	3,091	1,715	1,723	2,787	1,694	3,063
実績の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名(2年度は見込み)								
投句事業(年間)			4	5	4	5	6	4
俳句ポストの設置			9	9	10	14	17	20
予算・決算の内訳		平成30年度(決算)		令和元年度(決算)		令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	講師謝礼	278	報償費	講師謝礼、託児謝礼	173	報償費	講師謝礼	686
旅費	職員旅費	381	旅費	職員旅費	0	旅費	職員旅費	323
需用費	消耗品購入、俳句タイル等	1,423	需用費	消耗品購入、印刷製本	1,172	需用費	消耗品購入、印刷製本	1,703
委託料	有馬文庫、投句箱作成委託等	366	役務費	保険料等	0	役務費	保険料等	36
使用料等	施設使用料、付帯設備料	71	委託料	投句箱作成、投句用紙回収	257	委託料	投句箱作成、投句用紙回収	121
工事費	俳句タイル設置	248	使用料等	会場使用料、付帯設備料	71	使用料等	会場使用料、付帯設備料	174
負担金	俳句ユネスコ協議会	20	負担金	俳句ユネスコ協議会	20	負担金	俳句ユネスコ協議会	20

行政コスト計算書	勘定科目		30年度	元年度	差額	行政収入	勘定科目		30年度	元年度	差額
	給与関係費		7,515	7,112	▲403		地方税		0	0	0
物件費		2,241	1,501	▲740	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		248	0	▲248	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		298	193	▲105	使用料及び手数料		0	0	0		
減価償却費		0	0	0	その他		0	0	0		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		0	0	0		
賞与・退職給与引当金繰入額		1,704	996	▲708	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲12,006	▲9,802	2,204		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		12,006	9,802	▲2,204	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲12,006	▲9,802	2,204		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲12,006	▲9,802	2,204		

備考 行政費用では、需用費及び委託料として物件費が多くかかっている。元年度の主な内訳としては、パンフレットや俳句手帳の作成、PRグッズの制作などである。また、30年度の維持補修費は俳句タイルの設置工事である。

問題点・課題 ①区の俳句事業に対する区民の関心を高め、俳句文化の裾野をさらに広げる必要がある。
②区における俳句人口を増やすため、特に小中学生や若い年代の区民が俳句に親しめるような事業を拡充していく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	平成27年度から実施している投句事業の入選句等を掲載した句集を俳句のまち宣言5周年記念として作成し、広く周知する。	俳句のまち宣言5周年記念の句集をイベントなどで配布し、あらかわ俳壇の周知を図った。	俳句文化の裾野を一層拡大するため、SNSを活用した俳句事業を実施する。
②	俳句のまち宣言5周年を記念した鑑賞型イベントの開催のほか、中高生に向けた呼びかけを強化する。	鑑賞型イベントとして「子規・漱石句あわせin日暮里」を開催した。また、「あらかわ俳壇小中学生スペシャル」を実施した。	俳句に親しむ区民の増加を図るため、小中学生や若年層の投句を増やす仕組みを検討する。
③	関係各課が連携して、330周年関連事業を周知・実施する。	関係各課と連携して、330周年事業に関する区報の特集号を組み、広く区民へ周知・実施した。	俳句プロジェクトチームにおいて、感染症対策を徹底したうえで、継続した関係各課の連携と事業の実施を図る。

他区の実況	(実施 1 区 未実施 21 区 不明 0 区)
江東区	きらり☆こうとう俳句祭(小中学校俳句大会)

議会議質問状(要旨)	平成27年度2月会議 平成28年度2月会議 平成28年度2月会議 平成29年度6月会議	俳句宣言後の取組について 「俳句のまちあらかわ」の推進について ユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組について 「俳句のまちあらかわ」の更なる推進について
------------	--	---

事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	05-01-10		戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事				
事務事業名	公益財団法人荒川区芸術文化振興財団補助		部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課		課長名	伊藤	
			担当者名	高村		内線	2523	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-01-01	財団職員人件費						
	01-02-01	財団運営費（財団運営費）						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）			<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和 63 年度		根拠	地・自法232の2、公益財団法人荒川区芸術文化振興財団に対する助成等に関する条例				
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		令和3 年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	公共性と収益性のある芸術文化のための公益法人を育成することにより、事業の充実や新たな展開を図り区民サービスを充実させる。併せて、将来的に区財政の負担軽減を図る。							
対象者等	公益財団法人荒川区芸術文化振興財団(ACC)							
内容	本事業は芸術文化振興財団助成事業のうち、職員人件費及び財団運営に必要な運営費、理事会評議員会に関する経費、財務管理システム経費を補助するものである。 ・令和2年度(4月1日現在) 常勤職員：事務局長1人(固有)、管理係3人(派遣)、文化事業係4人(派遣) <派遣職員7人、固有常勤職員1人、固有非常勤職員7人、固有非常勤理事長1名> ・運営費：光熱水費、消耗品費、健康診断費、通信運搬費、複写機等賃借料等 ・理事会評議員会経費：理事会(12人)、評議員会(17人)開催に係る経費 ・財務管理システム経費：データ回線使用料、システム機器リース経費等							
経過	平成18年度：町屋文化センター(所管：社会教育課)及び荒川遊園(所管：公園緑地課)の指定管理者となる。地域振興公社の所管課は区民生活部文化交流推進課となる。 平成20年度：荒川遊園事業部長を設置 平成21年度：理事長を常勤職員(固有)とし、管理係を1名増員。管理係に遊園安全担当係長を設置 平成22年度：事務局長を固有職員とする。管理係に人材派遣職員を1名採用 平成23年度：理事長と事務局長を兼務、管理係の人材派遣職員を1名減。荒川遊園の指定管理終了(区直営となったため) 平成24年度：事務局長を配置し、理事長の兼務を解消。公益財団法人へ移行(4月1日) 平成26年度：次長職を配置 平成27年度：次長職は事務局長が兼務、文化事業係の派遣職員数を1名増 平成29年度：次長職を配置 令和元年度：次長職は事務局長が兼務							
必要性	芸術文化事業の実施団体として、その活動を支援していく必要がある。また、荒川区芸術文化振興財団の効率的な運営のため職員体制の確保は不可欠である。							
実施方法	(1直営) (直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員) 補助金の交付							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			29年度	30年度	元年度	2年度見込み		目標値(8年度)
	①	友の会会員数	678	710	760	780	850	年度末時点での会員数
	②							
③								
事務事業の分類			分類についての説明・意見等					
2年度		3年度						
推進		推進		芸術文化振興の担い手としてのACCへの補助が必要であり、ACCの効率的な運営のため、職員体制確保が不可欠であるため、推進する。				

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		49,728	49,556	53,094	60,260	60,127	57,946	50,580
決算額(2年度は見込み)		43,764	48,449	46,978	53,481	50,657	43,108	50,580
実績の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名(2年度は見込み)								
派遣職員数		7	7	7	7	7	7	7
固有職員数		1	1	1	2	2	1	1
非常勤職員数		7	7	7	7	7	7	7
非常勤理事長		1	1	1	1	1	1	1
予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
負担金補助等	財団職員人件費	43,840	負担金補助等	財団職員人件費	36,193	負担金補助等	財団職員人件費	41,907
負担金補助等	財団運営費	6,817	負担金補助等	財団運営費	6,915	負担金補助等	財団運営費	8,673

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	30年度	元年度	差額	30年度		元年度	差額		
行政費用	給与関係費	177	167	▲ 10	地方税	0	0	0	
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	50,657	43,108	▲ 7,549	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	40	23	▲ 17	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 50,874	▲ 43,298	7,576	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	50,874	43,298	▲ 7,576	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 50,874	▲ 43,298	7,576	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 50,874	▲ 43,298	7,576		

備考 行政費用では、負担金補助及び交付金として補助費等が多くかかっている。主な内訳としては、財団人件費、財団運営費である。30年度は事務用PCの更新と設立30周年記念誌発行等で補助費等が増加した。

問題点・課題 区と緊密に連携し、円滑な事業運営と柔軟性を発揮した事業展開が求められる。

問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	円滑に財団運営が出来るよう、継続してコスト削減と事務の効率化に努める。	財団で運営に必要となる物品や消耗品等(パソコン更新含む)を計画的に購入し、コスト削減に努めた。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図りながら、円滑に財団運営を進める。
②			
③			
他区の実況	(実施) 18 区	未実施) 0 区	不明) 4 区)
況(要旨)	平成30年度決特 決算不要額の内訳について		

事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	05-01-11		戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	芸術文化・地域振興事業（芸術文化振興財団費）		部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	伊藤		
			担当者名	高村	内線	2523		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-02-02	ほっとたうん発行（財団運営費）						
	01-02-03	芸術文化・地域振興事業費						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業	<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和 63 年度		根拠					
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 令和3 年度		法令等					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	サンパール荒川、日暮里サニーホール、ムーブ町屋などの区民ホールで、芸術文化事業を公演することにより、荒川区における芸術文化の振興と区民文化の活性化を図る。							
対象者等	公益財団法人荒川区芸術文化振興財団(ACC) (H24. 4. 1公益財団法人に移行し名称変更)							
内容	芸術文化振興財団事業のうち、芸術文化及び地域の振興に関係する事業への補助である。 [定期事業] 荒川区民交響楽団・第九演奏会、小泉定弘写真展、都電写真コンテスト 等 [その他事業実績等] ・27年度 ARAKAWAクラシックBOX、「夏休みはエンゲキ!」 舞台「おいしいのぼうけん」 等 ・28年度 ARAKAWAクラシックBOX、サンパール荒川リニューアルフェスタ 等 ・29年度 ARAKAWAクラシックBOX、山内恵介熱唱ライブ・春、夏休みはエンゲキ「ルドルフとイッパイアッテナ」 等 ・30年度 ACC30周年記念事業「ウィーン少年合唱団」、「東京スカパラダイスオーケストラ」等 ・元年度 神田松之丞独演会、南こうせつコンサート、篠崎史紀ヴァイオリン・リサイタル 等 ・2年度 神田伯山独演会、野口五郎コンサート、純烈コンサート 等							
経過	平成24年度：公益財団法人に移行し名称変更(H24. 4. 1) 区民課にて施設使用料のみ負担（附帯設備はACCの負担） ARAKAWA1-1-1 ギャラリー開設(H24. 6. 1) 平成25年度：教育委員会との連携事業を実施 （汐入小学校にて授業内で能楽体験・全中学生を対象に文楽の鑑賞会） 平成26年度：自主事業で子ども向け演劇ワークショップを実施 平成27年度：サンパール荒川改修工事のため、事業について日暮里サニーホール等他の施設を活用 平成30年度：ACC設立30周年記念事業を実施 令和元年度：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月公演事業を中止							
必要性	荒川区芸術文化振興財団の最も重要な使命である芸術文化事業実施のための補助であり必要性は高い。							
実施方法	（1直営） （直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 補助金の交付							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			29年度	30年度	元年度	2年度見込み		目標値(8年度)
	①	チケット収入率(%)	42.6	51.1	46.6	38.0	45	自主事業収入額÷支出額
	②	芸術文化・地域振興事業数	58	66	62	45	65	
③	芸術文化・地域振興事業来場者数	42,241	44,950	38,734	23,406	55,000		
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
2年度		3年度						
推進		推進 ACCの設立趣旨である「荒川区における芸術文化の振興を図り、地域社会の発展と区民生活の向上に資する」ため推進する。						

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		45,184	27,319	54,534	54,534	54,534	55,368	54,617
決算額(2年度は見込み)		24,591	18,101	39,445	35,764	37,347	32,637	54,617
実績の推移	事項名(2年度は見込み)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
	チケット収入率(%)	39.5	26.8	37.3	42.6	51.1	46.6	38.0
	参加・体験型事業件数	29	20	26	21	22	22	22
	芸術文化・地域振興事業来場者数	52,925	35,121	52,342	42,241	44,950	38,734	23,406
予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
負担金補助等	ほっとタウン発行(財団運営費)	9,350	負担金補助等	ほっとタウン発行(財団運営費)	9,437	負担金補助等	ほっとタウン発行(財団運営費)	9,532
負担金補助等	芸術文化・地域振興事業費	27,997	負担金補助等	芸術文化・地域振興事業費	23,200	負担金補助等	芸術文化・地域振興事業費	45,085

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	30年度	元年度	差額		30年度	元年度	差額	
	給与関係費	265	251	▲ 14	地方税	0	0	0
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	37,347	32,637	▲ 4,710	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	60	35	▲ 25	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 37,672	▲ 32,923	4,749
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	37,672	32,923	▲ 4,749	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 37,672	▲ 32,923	4,749
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 37,672	▲ 32,923	4,749

備考 行政費用では、負担金補助及び交付金として補助費等が多くかかっている。主な内訳は、広報誌発行費として9,437千円、芸術文化・地域振興事業費として23,200千円である。3月公演事業の中止等により、補助費等が前年度より減少した。

問題点・課題 荒川区の芸術文化振興をさらに進めるため、区民や団体の活動支援、区の将来を担う子どもたちを中心とした人材育成に貢献する事業を推進する必要がある。
伝統文化指導者派遣事業については、学校がより活用しやすい方法を検討していく必要がある。
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ソーシャルディスタンス等に配慮した事業運営をする必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	指導者派遣事業は、活用促進のため更に改善を図るとともに参加型事業の見直しを継続し次世代育成の取組みを推進する。	指導者派遣事業について、学校が利用しやすいよう1回当たりの時間を増加し、事業の充実を図った。	指導者派遣事業は、指導者及び実施校の状況を踏まえながら、引き続き事業の充実を図る。
②	区民ニーズを踏まえ、事業の改善・見直しを図り、芸術文化振興のための人材育成に資する事業展開を推進する。	育成支援事業として、新規のJAZZバンドの支援を開始するなど、人材育成に資する事業を展開した。	会場において新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底するとともに、事業参加者の心理的不安に配慮した事業運営を行う。
③	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止により3月の公演を中止した。	新しい生活様式に対応した公演の実施を検討する。

他区の実況	(実施 18 区 未実施 0 区 不明 4 区)
議会(要旨)質問状	平成25年度予特 区民ミュージカル事業の推進について 平成25年度決特 事業内容の把握と価値ある事業について 平成26年度決特 「アーティストバンク」の拡充について

事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	05-01-12	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	区民会館費	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	伊藤		
		担当者名	高村	内線	2523		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-01-01	区民会館管理運営費					
	01-02-01	区民会館営繕費（計画工事）					
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業	<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和	49 年度	根拠	荒川区区民会館条例及び条例施行規則			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内	<input type="radio"/> 都基準内	<input checked="" type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input type="radio"/> 計画	<input checked="" type="radio"/> 非計画	
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	01	芸術文化の振興				
目的	荒川区民会館を広く区民の利用に供するとともに、利用者サービスの向上を図るため、施設状況を良好に保持し、適切な管理運営を行う。						
対象者等	区民及び施設利用者						
内容	<p>名称 荒川区民会館（愛称 サンパール荒川〔昭和56年度区民公募〕）</p> <p>所在地 荒川区荒川1-1-1 電話 3806-6531</p> <p>開館時間 午前9時から午後10時まで</p> <p>休館日 年末年始（12月29日から1月3日）</p> <p>構造・規模 SRC造 地下1階、地上6階 延床面積10,044.09㎡</p> <p>施設の概要 1F：大ホール（975席、1161.88㎡） 2F：レストランモア、ACCギャラリー</p> <p>3F：小ホール（移動席300席、281.09㎡）</p> <p>4F：第1集会室（洋室50名）、第2集会室（洋室50名）、第3集会室（洋室50名）、第4集会室（和室40名）</p> <p>5F：第5集会室（洋室50名）、第6集会室（洋室50名）、第7集会室（洋室100名）</p> <p>6F：荒川コミュニティカレッジ</p>						
経過	<p>昭和50年 3月28日 荒川区民会館オープン（昭和50年3月26日 供用開始）</p> <p>平成 2年 4月 1日 財団法人荒川区地域振興公社へ管理運営を委託</p> <p>平成 4年 4月 1日 改修工事のため休館（同年10月31日まで）</p> <p>平成18年 4月 1日 指定管理者制度導入によりMKT共同事業体による管理開始（平成21年度更新）</p> <p>毎週月曜日の開館とともに、年末年始の休館日を8日間から6日間に短縮</p> <p>平成18年 7月 5日 レストランモアにレストラン運営の行政財産使用許可を開始</p> <p>平成22年 8月 2日 結婚式場と控室を廃止し、社会教育課が荒川コミュニティカレッジとして使用開始</p> <p>平成24年 4月 1日 指定管理者公募により、MKT共同事業体による管理開始（平成27年度更新）</p> <p>平成24年 6月 1日 荒川区芸術文化振興財団（ACC）の分室（ARAKAWA1-1-1ギャラリー）が開設</p> <p>平成28年 4月 1日 平成27年度に1年間休館で実施した大規模改修が終了し、リニューアルオープン</p> <p>平成30年 4月 1日 指定管理者公募により、㈱ケイミックスパブリックビジネスによる管理開始</p>						
必要性	区民の文化の向上とコミュニティ活動促進を図る上で拠点として設けられた施設であり、必要性は高い。						
実施方法	<p>（3委託） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員）</p> <p>指定管理者：（株）ケイミックスパブリックビジネス</p> <p>指定管理料：R1年度決算157,775,829円、R2年度予算162,908,000円</p>						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		29年度	30年度	元年度	2年度見込み	目標値（8年度）	
	① 文化、芸能のイベント件数（件）	252	241	241	180	250	音楽、演劇、舞踊、映画、その他芸能での催事数
	② 文化、芸能の利用人数（人）	87,483	64,509	70,309	52,731	122,000	上記①での利用人数
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
2年度	3年度						
推進	推進	区民の文化の向上とコミュニティ活動の促進を図り、芸術文化を発信するための拠点として設けられた施設であるため、推進する。					

予算・決算額等の推移	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	
予算額	1,226,234	1,808,365	187,486	188,297	204,326	182,695	244,024	
決算額(2年度は見込み)	1,187,982	1,735,745	169,252	168,414	185,606	176,280	244,024	
実績の推移	事項名(2年度は見込み)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
	大ホール貸出稼働率(%)	55.6	(休館)	55.5	62.4	60.7	58.1	43.5
	小ホール貸出稼働率(%)	62.4	(休館)	56.4	55.3	59.6	57.0	42.8
	集会室貸出稼働率(%)	40.5	(休館)	36.8	40.6	42.4	40.1	29.7

予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	実績評価委員会報酬	60	報償費	実績評価委員会報酬	61	報償費	実績評価委員会報酬	61
需用費	実績評価委員会賄	0	需用費	委員会賄、備蓄品等	338	需用費	実績評価委員会賄	2
委託料	指定管理者委託料外	183,555	委託料	指定管理者委託料外	175,218	委託料	指定管理者委託料外	177,490
使用料	AEDリース料	68	使用料	AEDリース料	69	使用料	AEDリース料	69
備品購入費	指定管理者対応備品外	1,922	備品購入費	指定管理者対応備品	596	工事請負費	スプリンクラ更新費等	40,871
						公有財産購入費	用地取得費	24,831
						備品購入費	指定管理者対応備品	700

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	30年度	元年度	差額	30年度		元年度	差額		
	給与関係費	11,051	9,622	▲ 1,429	地方税	0	0	0	
	物件費	185,545	176,220	▲ 9,325	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	60	60	0	使用料及び手数料	4,784	4,148	▲ 636	
	減価償却費	15,930	15,930	0	その他	9,667	10,761	1,094	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	14,451	14,909	458	
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,506	1,347	▲ 1,159	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 200,641	▲ 188,270	12,371	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 3,786	▲ 3,536	250	
	行政費用合計(b)	215,092	203,179	▲ 11,913	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 204,427	▲ 191,806	12,621	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 204,427	▲ 191,806	12,621	

備考 行政費用では、委託料として物件費が多くかかっており、主な内訳は指定管理者委託料である。減少理由は30年度利用料金収入前受金を支出したためである。「行政収入その他」の主な内訳は、行政財産使用料、行政財産使用に伴う光熱水費である。

- 問題点・課題
- 利用者ニーズに柔軟に対応できるよう、サービス向上策について、指定管理者と緊密な連携を図っていく。
 - 施設を維持管理するため、日常点検のほか、適切な保守や修繕を行う必要がある。
 - 敷地の一部が東京都市計画道路補助線街路第90号線の予定地であるため、今後の施設運営に支障がないよう、関係機関と調整を図り、鋭意対応する。
 - 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨機応変な対応を行う。

問題点・課題の改善策								
	令和元年度に取り組む具体的な改善内容			令和元年度に実施した改善内容および評価			令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容	
①	寄せられた利用者意見を分析し、サービスをより向上させることに加え、自主事業の充実を図り、稼働率向上につなげていく。			寄せられた意見で対応可能なものについては、すぐに改善した。自主事業8件実施し、区民会館をより身近な施設と位置づけた。			利用者意見を集約し、サービスをより向上させるとともに、感染症対策を図り安全、安心な施設運営を行う。	
②	適切な保守を行うとともに、必要な修繕を計画的に実施していく。			適切な時期に保守を行い、施設の安全を図った。			引き続き、適切な保守を行うとともに、必要な修繕を計画的に実施していく。	
③	東京都市計画道路補助線街路第90号線整備事業について、関係機関と調整を図りながら、今後の対応を計画していく。			関係機関と調整を図り、近隣地の状況を確認するとともに、必要な対応を行った。			東京都市計画道路補助線街路第90号線整備事業について、引き続き関係機関と調整を図りながら、今後の対応を進めていく。	
他区の実況	(実施)	22	区	未実施	0	区	不明	0
議会議決要旨	平成26年予特 「ケータリングの導入検討について」 平成27年度9月会議 「荒川区民会館の長寿命化について」 平成28年決特 「ケータリングの利用方法について」 「休業日の取扱いについて」							

事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	05-01-13		戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	日暮里サニーホール費		部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課		課長名	伊藤	
			担当者名	三浦		内線	2523	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-01-01	日暮里サニーホール管理運営費						
	01-01-02	日暮里サニーホール共用部分等修繕						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input type="radio"/> 昭和	<input checked="" type="radio"/> 平成	<input type="radio"/> 令和	元年度	根拠	日暮里サニーホール条例及び条例施行規則		
終期設定	<input type="radio"/> 有	<input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内		<input type="radio"/> 都基準内	<input checked="" type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input type="radio"/> 計画	<input checked="" type="radio"/> 非計画	
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	日暮里サニーホールを広く区民の利用に供するとともに、利用者サービスの向上を図るため、施設状況を良好に保持し、適切な管理運営を行う。							
対象者等	区民及び施設利用者							
内容	<p>名称 日暮里サニーホール</p> <p>所在地 荒川区東日暮里5-50-5ホテルラングウッド4・5階 電話 3807-3211</p> <p>開館時間 午前9時から午後10時まで（受付は午後8時まで）</p> <p>休館日 年末年始（12月29日から1月3日）</p> <p>構造・規模 SRC造 地上13階、地下3階の内、4・5階部分 延床面積 2,311.28㎡</p> <p>施設の概要 多目的ホール 収容人員500名（フラット時）／面積404㎡ コンサートサロン 収容人員100名（フラット時）／面積113㎡ 会議室 第1会議室 収容人員24名（面積57㎡） 第2会議室 収容人員12名（面積25㎡） 第3会議室 収容人員12名（面積28㎡） ※第2,3会議室は通し使用可能</p>							
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・平成元年 2月 9日 日暮里サニーホールオープン（財団法人荒川区地域振興公社へ管理運営を委託） ・平成15年 4月 1日 受付、舞台機構管理等の各業務の再委託を行い、大幅な経費の削減を図った。 ・平成16年11月30日 （財）中央労働福祉センター解散。（株）三菱UFJ信託銀行が区と覚書を取交し、財団の業務を引継ぐ。 ・平成18年 4月 1日 指定管理者制度導入により（株）シービーシーメソッドによる管理開始 年末年始の休館日を8日間から6日間に短縮 ・平成21年 4月 1日 指定管理者更新により、引続き（株）シービーシーメソッドによる管理開始 ・平成24年 4月 1日 指定管理者の公募により、日暮里サニーホールさくらグループによる管理開始（平成27年度更新） ・平成30年 4月 1日 指定管理者公募により、（株）コングレによる管理開始 							
必要性	区民の文化の向上とコミュニティ活動促進を図る上で拠点として設けられた施設であり、必要性は高い。							
実施方法	（3委託） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 指定管理者：（株）コングレ 指定管理料：R1決算40,197,000円、R2予算45,553,000円							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			29年度	30年度	元年度	2年度見込み		目標値（8年度）
	①	文化、芸能のイベント件数（件）	650	604	512	383	800	音楽、演劇、舞踊、映画、その他芸能での催事数
	②	文化、芸能の利用人数（人）	70,790	63,691	59,600	44,700	80,000	上記①での利用人数
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
2年度	3年度							
継続	継続	区民の文化の向上とコミュニティ活動の促進を図るための施設であるため、継続して実施する。						

予算・決算額等の推移	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	
予算額	66,743	85,658	67,690	71,522	88,882	68,250	78,449	
決算額 (2年度は見込み)	60,288	77,061	59,671	61,955	85,206	67,950	78,449	
実績の推移	事項名 (2年度は見込み)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
実績の推移	多目的ホール貸出稼働率	73.6	70.9	70.8	68.6	65.2	62.7	47.0
	コンサートサロン貸出稼働率	89.5	90.8	91.4	90.4	93.9	87.5	65.6
	会議室貸出稼働率	78.7	77.9	73.1	72.1	68.2	69.7	52.3

予算・決算の内訳								
平成30年度 (決算)			令和元年度 (決算)			令和2年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
需用費	客席専用台車	179	需用費	楽屋用椅子	336	委託料	指定管理者委託料等	52,605
委託料	指定管理者委託料等	71,492	委託料	指定管理者委託料等	54,004	使用料等	日暮里駅前駐輪場サービス券外	46
使用料等	日暮里駅前駐輪場サービス券外	39	使用料等	日暮里駅前駐輪場サービス券外	43	備品購入費	指定管理者対応備品	500
工事請負費	給湯管修繕	429	備品購入費	指定管理者対応備品外	833	負担金補助等	ラングウッド'駐車場建物管理業務経費等	7,232
備品購入費	客席、液晶プロジェクター外	5,890	負担金補助等	ラングウッド'駐車場建物管理業務経費等	4,691	負担金補助等	ラングウッド'共用部分工事費	18,066
負担金補助等	ラングウッド'駐車場建物管理業務経費等	4,713	負担金補助等	ラングウッド'共用部分工事費	8,043			
負担金補助等	ラングウッド'共用部分工事費	2,462						

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	30年度	元年度	差額		30年度	元年度	差額	
行政費用	給与関係費	6,189	5,857	▲ 332	地方税	0	0	0
	物件費	77,601	55,216	▲ 22,385	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	429	0	▲ 429	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	7,175	12,734	5,559	使用料及び手数料	22	0	▲ 22
	減価償却費	36,010	36,010	0	その他	5,723	10,763	5,040
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	5,745	10,763	5,018
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,403	820	▲ 583	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 123,062	▲ 99,874	23,188
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	128,807	110,637	▲ 18,170	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 123,062	▲ 99,874	23,188
特別費用(g)	6,018	0	▲ 6,018	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 6,018	0	6,018	当期収支差額(e)+(h)	▲ 129,080	▲ 99,874	29,206	

備考 「物件費」の減少理由は、30年度に区から指定管理者へ支出した前受け金の影響である。「補助費等」の増加理由は、ホテルとの共用部分計画修繕費や管理費等が増えたためである。

- 問題点・課題
- 1 利用者ニーズに柔軟に対応できるよう、サービス向上策について、指定管理者と緊密な連携を図っていく。
 - 2 複合施設であることから、施設の改修工事計画を策定するにあたり、ホテルラングウッドとの調整が必要である。
 - 3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨機応変な対応を行う。

問題点・課題の改善策			
①	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	自主事業の実施に向けて指定管理者と協議する。	自主事業を実施し、区民が芸術文化に触れる機会の提供に寄与した。	自主事業の充実を図るとともに、感染症対策を図り安全、安心な施設運営を行う。
②	複合施設であることから、ホテルと調整しながら保守・修繕の実施を検討していく。	適切な時期に指定管理者による保守を行い、施設の安全を図った。	ホテルと調整しながら保守・修繕を計画的に進めていく。
③			

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
議会議事録(要旨)	

事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	05-01-14	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事		
事務事業名	ムーブ町屋費	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	伊藤			
		担当者名	三浦	内線	2523			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-01-01	ムーブ町屋管理運営費						
	01-02-01	ムーブ町屋営繕費（計画工事等）						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 2年度 <input type="radio"/> 元年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和	8年度	根拠	荒川区ムーブ町屋条例及び条例施行規則				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	ムーブ町屋を広く区民の利用に供するとともに、利用者に対するサービス向上を図るため、施設状況を良好に保持し、適切な管理運営を行う。							
対象者等	区民及び施設利用者							
内容	<p>名称 ムーブ町屋 所在地 荒川区荒川7-50-9センターまちや3・4階 電話3819-7761 開館時間 午前9時から午後10時（受付は午後8時） 休館日 年末年始（12月29日から1月3日） 構造・規模 SRC造 地上22階、地下2階の内、3・4階部分 延床面積2797.17㎡ 施設の概要 多目的ホール 収容人員296席／面積230㎡（舞台、電動式椅子を収納した場合） ハイビジョンルーム 収容人員70席／面積 56㎡/スクリーン大きさ3.4m×1.9m ミニギャラリー 収容人員28名（椅子のみ使用時は40名）／面積70㎡ スタジオ 収容人員10名程度／面積51㎡ 企画展示コーナー オープンスペース／面積145㎡（4階全施設を使用する場合185㎡） その他 住民票・印鑑登録証明書自動交付機（平成8年6月開設）</p>							
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 8年 6月 1日 ムーブ町屋オープン（財団法人荒川区地域振興公社へ管理運営を委託） ・平成15年 4月 1日 受付、舞台機構管理等の各業務の再委託を行い、大幅な経費の削減を図った。 ・平成17年10月 3日 JOBコーナー町屋開設 ・平成18年 4月 1日 指定管理者制度導入により（株）シー・シートによる管理開始 年末年始の休館日を8日間から6日間に短縮 ・平成21年 4月 1日 指定管理者更新により、引続き（株）シー・シートによる管理開始 ・平成24年 4月 1日 指定管理者の公募により、ムーブ町屋さくらグループによる管理開始 就労支援課の執務スペースを設置 ・平成25年 4月 1日 くつろぎ広場の一部をJOBコーナー町屋の若者向け相談スペースとして使用開始 ・平成27年 4月 1日 指定管理者更新により、引続きムーブ町屋さくらグループによる管理開始 ・平成30年 4月 1日 指定管理者公募により、（株）コングレによる管理開始 							
必要性	区民の文化の向上とコミュニティ活動促進を図る上で拠点として設けられた施設であり、区内の中心部にある施設として、数多くの団体に利用されており、必要性は高い。							
実施方法	（3委託） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 指定管理者：（株）コングレ 指定管理料：R1決算34,362,143円、R2予算34,643,000円							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			29年度	30年度	元年度	2年度見込み		目標値(8年度)
	①	文化、芸能のイベント件数（件）	600	681	670	502	800	音楽、演劇、舞踊、映画、その他芸能での催事数
	②	文化、芸能の利用人数（人）	31,191	27,389	29,336	22,002	50,000	上記①での利用人数
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
2年度		3年度						
継続		継続						
区民の文化の向上とコミュニティ活動の促進を図るための施設であるため、継続して実施する。								

予算・決算額等の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額		165,932	95,339	76,354	111,002	125,950	108,668	108,380
決算額(2年度は見込み)		159,501	90,010	76,255	93,231	105,683	102,156	108,380
実績の推移		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名(2年度は見込み)								
多目的ホール貸出稼働率		58.1	70.0	59.9	64.1	56.2	61.4	46.0
会議室A・B貸出稼働率		60.6	70.3	65.1	62.4	58.2	57.6	43.2
スタジオ貸出稼働率		68.6	62.2	70.4	77.5	71.6	70.8	53.1
ギャラリー貸出稼働率		56.7	52.9	54.3	52.9	36.0	26.0	19.4
予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
需用費	ペルトバーテーション、配管修繕、舞台用階段	626	需用費	修繕費	528	需用費	展示板脚	770
委託料	指定管理料委託料等	45,744	委託料	指定管理料委託料等	37,825	委託料	指定管理料委託料等	37,245
使用料等	AEDリース料	23	使用料等	AEDリース料	23	使用料等	AEDリース料	23
備品購入費	指定管理対応備品	691	備品購入費	指定管理対応備品外	641	備品購入費	指定管理対応備品、展示板	1,517
負担金補助等	管理規約に基づく分担金	58,600	負担金補助等	管理規約に基づく分担金	63,139	負担金補助等	管理規約に基づく分担金	68,825

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	30年度	元年度	差額	30年度		元年度	差額		
行政費用	給与関係費	6,189	5,857	▲ 332	地方税	0	0	0	
	物件費	46,789	38,489	▲ 8,300	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	294	528	234	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	58,600	63,139	4,539	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	91,001	91,001	0	その他	38	37	▲ 1	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	38	37	▲ 1	
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,403	820	▲ 583	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 204,238	▲ 199,797	4,441	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	204,276	199,834	▲ 4,442	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 204,238	▲ 199,797	4,441	
特別費用(g)	3,382	0	▲ 3,382	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 3,382	0	3,382	当期収支差額(e)+(h)	▲ 207,620	▲ 199,797	7,823		

備考

「物件費」の減少理由は、30年度に区から指定管理者へ支出した前受け金の影響である。「補助費」の増加理由は、センターまちやの管理費が増えたためである。

問題点・課題

- 利用者ニーズに柔軟に対応できるよう、サービス向上策について、指定管理者と緊密な連携を図っていく。
- 複合施設であることから、施設の改修工事計画を策定するにあたり、センターまちや管理組合との調整が必要である。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨機応変な対応を行う。

問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	自主事業実施に向けて指定管理者と協議するとともに、区外団体へ利用促進の周知を図り、稼働率向上を目指す。	令和2年3月に自主事業の実施が決定したが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見送った。	自主事業の充実を図るとともに、感染症対策を図り安全、安心な施設運営を行う。
②	複合施設であることから、センターまちや管理組合と調整しながら保守・修繕の実施を検討していく。	適切な時期に指定管理者による保守を行い、施設の安全を図った。	センターまちや管理組合と調整しながら保守・修繕を計画的に進めていく。
③			

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
議会(要旨)状況	